

事故防止対策の水平展開支援手法

井上貴文 中村竜 重森雅嘉

鉄道の各現場は、ヒューマンエラーや事故を防止するために独自に開発し、実施している対策が多く存在しますが、別の現場ではその情報の把握が難しく、水平展開が困難です。そこで、インターネット上に対策の検索サイトを作成する手法について検討しました。

各現場の管理者が現場全体で取り組んでいる対策について入力し、他の現場の管理者が参照し、レビューを入力するものとなりました。

鉄道事業者の5つの乗務員区を対象に、ヒアリングとアンケート調査を行い、検索サイトの項目について、入力の手間と情報の充実とのバランスを調整しました。

その結果、対策一覧画面は、名前、写真、概要、職種、事故種別、エラー種別、職場名の7項目としました(図)。

対策の詳細画面は、上記の他に対策の内容や手順、対策開始時期、対策を開発したきっかけ、実施上の注意点、の4項目を加えました。

レビュー画面は、コメント、職場名の2項目としました。

No	名前	写真	概要	職種	事故種別	エラー種別
1	臨時徐行失念防止シール		時刻表に透明のシールに黄色の背景、赤字で徐行速度を印字したものを張る。簡単にはがすことができる。	運転士	速度超過	失念(ぼんやり) 失念(割込み)
2	風・雨規制失念防止メモ		規制区間走行中は駅に到着することに駅名を消し、自分が規制区間内にいることを忘れないようする。	運転士	速度超過	失念(ぼんやり) 失念(割込み)

図 対策一覧画面(抜粋)